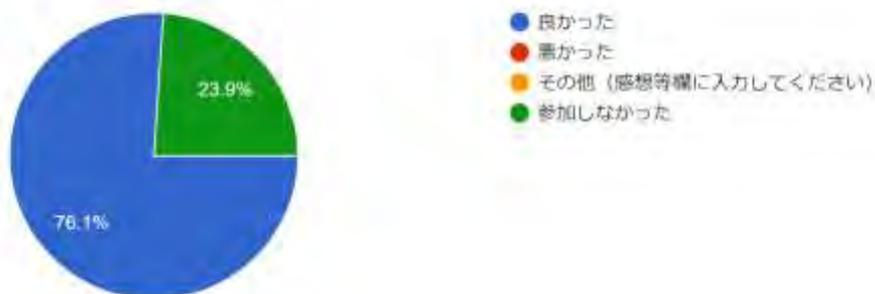


令和4年度

全事研岡山支部第1回研修会 アンケート結果 ※一部抜粋

総合評価 (いずれかにチェック)

71件の回答



<行政説明>

- 職務経験から説得力のあるお話を伺えてとてもありがたかったです。共同学校事務室での取組を進めていくための課題についてきちんとまとめられており、課題への対応についてそれぞれの役割が示されていたので、たいへん参考になりました。また、新給与システム導入と業務改善を絡めたお話もとても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- 今回説明のあった資料は職員室に置いているが、自分も含めてあまり気にしていなかったので反省した。県の指針や指標についてももっとアンテナを張り、校内に情報提供できるようになりたい。また、共同学校事務室に頼りすぎになっているので、自信をもって処理できるように根拠・文書の把握に努めたい。他人を変えるにはまず自分から変わっていくことの重要性が心に残った。

<講演>

- 学校のブランド化という考えは、現任校で行っていることに近いものがあったのでとても理解・納得しやすかった。内側（校内）と外側（校外）両方からのブランディングが重要であることを実感している。本校の場合は所属長のマンパワーによるものが大きいので一概に言えるものでもないが、管理職を巻き込み職員へ方向性を示すこと／協力を得ることができれば実践可能だと思われる。ただ、高瀬先生も言われていたように「互恵関係」の構築がキーワードで、全員が同じ方向を向くためには全員が賛成（納得）する必要がある。新たなことに取り組もうとすると業務増に繋がる点にも注意を払わねばならない。インナーブランディングがうまくできなければアウトターブランディングにも躓いてしまう。

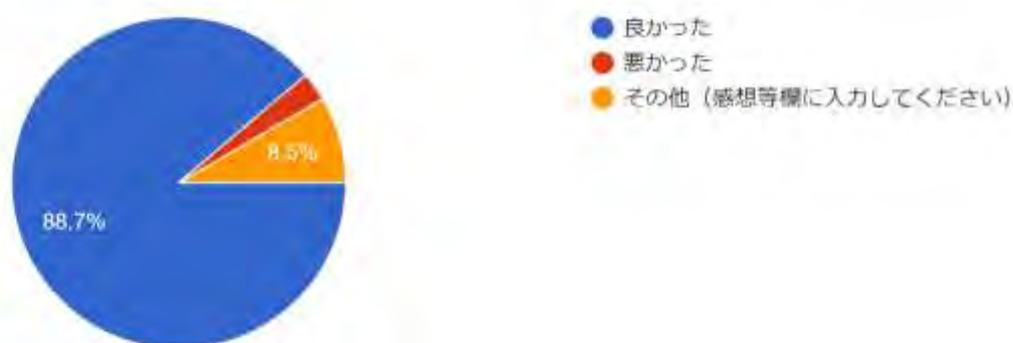
- 自校でめざし、進めている教育を、事務職員の立場でもきちんと言葉として説明できることの重要性や、そうすることで保護者地域からの「信頼」を得ることにつながる。また、学校の「価値」を高めるには、校内で良いイメージを「共有」する必要があること等々、すべての内容が、翌日からの仕事の励みになるものでした。
- 高瀬先生の講演を聞き、考える力の大切さについて再認識しました。生徒指導の服装ルールを例に挙げても、子どもから「あれは？これは？」と尋ねられることがあるが、ただ答えるだけでなく「どう思う？」と考えてもらうことも重要だと思った。「あれは？これは？」に対応しようと細かいルールばかり作っていると、子どもも考えなくなり、融通の利かない子に育ってしまう。(おまけに、指導する側もすべてのルールが把握できず、指導が行いにくくなる。)…ということを、講演を聞きながら考えました。また、学校だけでなく、保護者や地域住民とも協働して教育を行っていく重要性は、我々の間では大分周知されてきたような気がします。そのために、学校がしっかり説明をする必要があることを、今回よく理解できました。一方、保護者や地域住民側が「学校が全てやって当たり前」という認識が強い方が多いのではないかと、主に前任校で実感しておりましたので、国やメディア等から周知していく必要があるように思いました。ただ、何をすればいいかわからない保護者や地域住民も増えてきておりますので、「具体的に」説明し、協力して欲しいことを「具体的に」お願いしないと伝わらないとも思いました。よって、「具体的に説明する能力」が今後我々教職員に求められる資質能力の一つではないかという結論に、自分の中でたどり着きました。

<リフレクション>

- 短い時間でしたが、やはり対面でできるというのはとてもいいな、と思いました。
- 学校規模・生徒の様子・地域の温度が異なるグループになり、とても刺激になった。

会場 (いずれかにチェック)

71件の回答

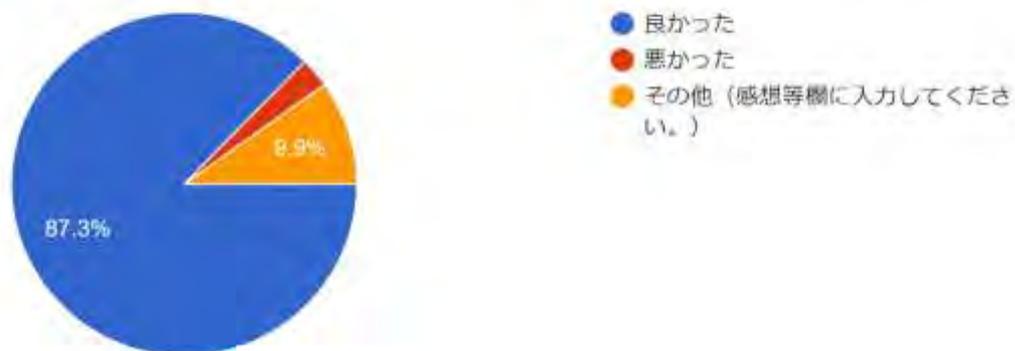


<会場>

- 駐車場も十分にあり、感染症対策も十分にとれる場所によかった。県内各地から集合するため、遠方になるのは仕方ない。
- 県下全域のことなので岡山県中央になることは仕方がないと思いながらも、遠いと思う。

開催日時（いずれかにチェック）

71件の回答



<日程>

- 業務・コロナが落ち着いた頃で、とてもありがたかったです。
- 他の研修会とかなり重なっていて、学校を空けにくい会員もいたのではないかと思います。

<その他>

- 今回、ご無理をお願いして参加させていただきありがとうございました。毎回、いい研修をされているのだと感じました。私も、こちらの地域で事務職員とともに令和の学校教育の推進に尽力していけるよう校長会等で情報発信していきたいと思います。
- とても刺激になりました。若い方々がどんどんスキルアップされていてとても頼もしく感じました。